

「臨床精神医学」特集テーマ一覧

1972年

- 1巻1号,向精神薬療法－最近の発展
- 1巻2号,精神分裂病の治療－その反省と展望－
- 1巻3号,てんかん

1973年

- 2巻1号,躁うつ病－最近の進歩－
- 2巻2号,神経症
- 2巻3号,アルコール中毒
- 2巻4号,老年期の精神医療－診断と社会心理的問題－
- 2巻5号,老年期の精神医療－治療と生物学的問題－
- 2巻6号,小児と精神障害－診断と治療のために－
- 2巻7号,精神療法の臨床
- 2巻8号,心理テスト
- 2巻9号,精神医学における身体的検査法
- 2巻10号,妊娠・出産と精神障害
- 2巻11号,精神科救急医療
- 2巻12号,精神遅滞

1974年

- 3巻1号,病院精神医学－精神病院における医療－
- 3巻2号,リハビリテーションと地域精神衛生
- 3巻3号,てんかんの精神症状
- 3巻4号,研究報告
- 3巻5号,症状性精神障害
- 3巻6号,教育と精神医学
- 3巻7号,精神科外来診療
- 3巻8号,精神医療の諸問題
- 3巻9号,精神障害者の予後
- 3巻10号,精神療法の効用と限界
- 3巻11号,妄想
- 3巻12号,精神科薬物療法

1975年

4巻1号,心身症

4巻2号,内因性精神病の生物学的研究—最近の進歩

4巻3号,文化と精神医学

4巻4号,頭部外傷

4巻5号,精神科疾患の診断—その展望と再検討—

4巻6号,精神医学と法律(1)

4巻7号,精神医学と法律(2)

4巻8号,睡眠障害(1)

4巻9号,睡眠障害(2)

4巻10号,精神病理学

4巻11号,薬物依存

4巻12号,精神障害の家族療法と集団療法

1976年

5巻1号,病前性格

5巻2号,職場の精神医学

5巻3号,神経心理学

5巻4号,家族精神医学

5巻5号,強迫神経症

5巻6号,反精神医学

5巻7号,薬物依存による中毒

5巻8号,宗教と精神医学

5巻9号,精神科治療薬剤の副作用とその対策

5巻10号,青春期の精神医学

5巻11号,精神科チーム医療

5巻12号,精神科卒後教育の現状と展望

5巻13号,幻覚

1977年

6巻1号,性と精神医学

6巻2号,初老期の精神医学

6巻3号,精神科疾患の臨床評価

6巻4号,結婚と精神医学

6巻5号,研究報告集

6巻6号,疫学と精神医学

6巻7号,精神科診療所の現状と問題点

- 6巻8号,精神分裂病の症候論(症状をどうとらえるか)
- 6巻9号,言語と精神医学
- 6巻10号,炭酸リチウムの薬理と臨床
- 6巻11号,他科診療における精神医学の役割—Liaison Psychiatry への模索
- 6巻12号,過密と過疎の精神医学

1978年

- 7巻1号,精神分裂病をどう治療するか(精神療法的接近を中心にして)
- 7巻2号,カウンセリングの理論と実際
- 7巻3号,抗てんかん薬の血中濃度測定の臨床的意義
- 7巻4号,不安神経症の診断と治療
- 7巻5号,精神科看護—新たなあり方を求めて—
- 7巻6号,こどもの問題行動
- 7巻7号,臨床脳波学—最近の進歩
- 7巻8号,自閉症
- 7巻9号,躁うつ病の成因論
- 7巻10号,心気症
- 7巻11号,Anorexia Nervosa
- 7巻12号,精神分裂病の入院治療

1979年

- 8巻1号,パトグラフィー
- 8巻2号,体内リズムと精神医学
- 8巻3号,躁うつ病治療の新しい動向
- 8巻4号,生物学的精神医学 最近の話題
- 8巻5号,精神科救急医療の新視点
- 8巻6号,精神療法—最近の動向
- 8巻7号,向精神薬の血中濃度測定とその臨床的意義
- 8巻8号,社会病理と精神医学
- 8巻9号,憑依状態とその周辺
- 8巻10号,現代精神医学の潮流
- 8巻11号,自殺の臨床
- 8巻12号,精神衛生相談—わが国における現状と問題点

1980年

- 9巻1号,精神症状の時代的変遷
- 9巻2号,染色体異常と精神障害

- 9巻3号,児童精神科医療
- 9巻4号,睡眠研究—最近の進歩
- 9巻5号,薬物療法—最近の話題
- 9巻6号,社会復帰活動の展望—そのシステム化をめぐる—
- 9巻7号,青年期精神医学
- 9巻8号,精神神経疾患と頭部CT
- 9巻9号,青年期精神医学の現状と展望(笠原ノ講演)
- 9巻10号,精神分裂病と大脳半球の左右差
- 9巻11号,ヒステリーとその周辺
- 9巻12号,神経学領域—最近の話題から

1981年

- 10巻1号,女性の精神医学
- 10巻2号,家族療法の実際
- 10巻3号,精神科デイケアの現状と問題点
- 10巻4号,免疫学と精神医学
- 10巻5号,人文科学領域における最近の動向
- 10巻6号,性欲の異常
- 10巻7号,司法精神鑑定の争点
- 10巻8号,てんかんの診療—最近の話題
- 10巻9号,暴力の精神病理
- 10巻10号,覚醒剤中毒
- 10巻11号,私の分裂病(立津)号,リチウム療法(Schou)
- 10巻12号,各領域からの展望

1982年

- 11巻1号,日本精神医学の源流
- 11巻2号,DSM—Ⅲをめぐる
- 11巻3号,アルコール症とその周辺
- 11巻4号,非定型精神病—その概念と診断基準—
- 11巻5号,老年精神障害(その1)
- 11巻6号,老年精神障害(その2)
- 11巻7号,対人恐怖
- 11巻8号,少年非行—現況と対策—
- 11巻9号,ポジトロンCTと精神医学
- 11巻10号,アルコール症の治療と社会復帰

- 11 卷 11 号,精神分裂病 最近の知見
- 11 卷 12 号,精神看護の現状と問題点

1983年

- 12 卷1号,躁病・躁状態
- 12 卷2号,精神医学の卒前教育
- 12 卷3号,リチウムーわが国における最近の研究から
- 12 卷4号,精神科臨床における診断と診断書
- 12 卷5号,危機介入
- 12 卷6号,ニューロペプチドと精神障害
- 12 卷7号,登校拒否の精神医学
- 12 卷8号,臨死患者と精神医学
- 12 卷9号,精神障害と責任能力
- 12 卷 10 号,表現精神病理学と芸術療法
- 12 卷 11 号,<公募論文>妄想
- 12 卷 12 号,患者会・家族会活動

1984年

- 13 卷1号,漢方と精神医学
- 13 卷2号,徐波睡眠ー最近の進歩
- 13 卷3号,精神遅滞(その1)
- 13 卷4号,クリティカルケアにおけるリエゾン精神医学
- 13 卷5号,精神疾患の長期予後
- 13 卷6号,精神遅滞(その2)
- 13 卷7号,精神科卒後教育の現状と問題点
- 13 卷8号,森田療法の今日的課題
- 13 卷9号,比較文化精神医学
- 13 卷 10 号,摂食障害
- 13 卷 11 号,<公募論文>幻覚
- 13 卷 12 号,NMRーCTと精神神経疾患

1985年

- 14 卷1号,最近の家族研究・家族療法
- 14 卷2号,精神科診療と医療保険
- 14 卷3号,精神科薬物療法トピックス
- 14 卷4号,現代の精神症状と症候群(特大号)
- 14 卷5号,慢性分裂病ーその医療と社会的ケア

- 14 卷6号,機能性精神病と認知障害
- 14 卷7号,精神療法とは何か
- 14 卷8号,痴呆の種々相とその臨床像
- 14 卷9号,壮年期の精神医学
- 14 卷 10 号,前頭葉機能と分裂病
- 14 卷 11 号,<公募論文> 家族療法の実際例
- 14 卷 12 号,睡眠時無呼吸症候群—最近の知見

1986年

- 15 卷1号,セネストパチー
- 15 卷2号,personality 障害
- 15 卷3号,精神障害と栄養問題
- 15 卷4号,神経症概念をめぐって
- 15 卷5号,精神科医療と保護—保護概念の検討
- 15 卷6号,私の治療 '86(1)
- 15 卷7号,私の治療 '86(2)
- 15 卷8号,地域精神医療
- 15 卷9号,脳内モノアミンと精神医学
- 15 卷 10 号,精神医学の将来号,疾病分類の今日的課題(講演/Pichot)
- 15 卷 11 号,老人の孤独と不安
- 15 卷 12 号,<公募論文> 長期経過から見た躁うつ病

1987年

- 16 卷1号,分裂病残遺状態
- 16 卷2号,精神神経疾患におけるDNA研究
- 16 卷3号,精神衛生法の改正をめぐって
- 16 卷4号,精神医学各領域からの展望 '87
- 16 卷5号,幼児の神経症様発症
- 16 卷6号,外来の精神療法
- 16 卷7号,睡眠—最近のトピックス
- 16 卷8号,ストレスと心の健康
- 16 卷9号,躁うつ病—最近の生物学的研究
- 16 卷 10 号,文化摩擦と精神医学
- 16 卷 11 号,精神科薬物療法—現況と展望 '87
- 16 卷 12 号,<公募論文> 老年期精神障害

1988年

- 17 卷1号,心理アセスメント
- 17 卷2号,恐怖症—その病理と治療
- 17 卷3号,てんかん医療—最近の進歩
- 17 卷4号,時間生物学と精神医学
- 17 卷5号,地域精神保健医療の現況
- 17 卷6号,臨床精神医学診断アトラス '88
- 17 卷7号,薬物依存の諸問題
- 17 卷8号,集団精神療法の実際
- 17 卷9号,記憶の障害—最近の進歩
- 17 卷 10 号,症状性精神障害
- 17 卷 11 号,老年期痴呆の初期診断
- 17 卷 12 号,自閉症の臨床—最近の進歩

1989年

- 18 卷1号,精神神経疾患と病識
- 18 卷2号,分裂病治療のための機能評価
- 18 卷3号,嗜好品使用と精神医学
- 18 卷4号,悪性症候群—病態と治療
- 18 卷5号,総合病院における精神科診療
- 18 卷6号,精神保健法のすべて—施行1年を顧みて—
- 18 卷7号,抗痴呆薬—その有効性と可能性
- 18 卷8号,軽症分裂病の臨床
- 18 卷9号,精神神経疾患における口渇と多飲
- 18 卷 10 号,うつ病の関連領域
- 18 卷 11 号,<公募論文>現代の司法精神鑑定例
- 18 卷 12 号,音楽療法

1990年

- 19 卷1号,精神保健センターの活動
- 19 卷2号,精神科薬物療法—最近の話題
- 19 卷3号,アルコール専門医を考える
- 19 卷4号,てんかん患者の自動車運転
- 19 卷5号,痴呆発現の危険因子
- 19 卷6号,青年期精神医学とその関連領域
- 19 卷7号,ICD—10(草案)の動向
- 19 卷8号,精神科専門外来

- 19 卷9号,分裂病の生活技能訓練
- 19 卷 10 号,人格障害の臨床
- 19 卷 11 号,<公募論文>結婚・妊娠・出産と精神医学
- 19 卷 12 号,精神科領域における画像診断

1991年

- 20 卷1号,老年期の感情の障害
- 20 卷2号,精神医療と福祉
- 20 卷3号,身体疾患を持つ患者への向精神薬療法
- 20 卷4号,うつ病の精神薬理学—最近の進歩
- 20 卷5号,夢の精神医学
- 20 卷6号,喫煙の精神医学
- 20 卷7号,精神療法—最近の進歩と治療の実例
- 20 卷8号,神経変性疾患にみる精神症状
- 20 卷9号,情緒障害児の臨床
- 20 卷 10 号,精神分裂病の精神薬理学—最近の進歩
- 22 卷 11 号,<公募論文>強迫の症例
- 20 卷 12 号,精神医療における「説明と同意」

1992年

- 21 卷1号,子どもの精神障害—その処遇と社会復帰
- 21 卷2号,精神分裂病研究における生物学的仮説
- 21 卷3号,精神科領域における漢方療法の現状と今後の問題点
- 21 卷4号,不安と精神医学
- 21 卷5号,精神医学における遺伝研究の進歩
- 21 卷6号,精神分裂病の長期予後
- 21 卷7号,精神保健法の見直しに向けての具体的提案
- 21 卷8号,離人症
- 21 卷9号,躁うつ混合状態
- 21 卷 10 号,性と精神医学
- 21 卷 11 号,<公募論文>「信仰・民俗」と精神障害
- 21 卷 12 号,老年期痴呆をめぐる最近の話題

1993年

- 22 卷1号,分裂病者のリハビリテーションの現状と課題
- 22 卷2号,地域における外国人の適応不全
- 22 卷3号,軽症うつ病の臨床

- 22 卷4号,不眠と不眠症
- 22 卷5号,こどもの精神医学
- 22 卷6号,高齢化社会と精神医学
- 22 卷7号,アルコール依存—精神症状—
- 22 卷8号,精神科薬物療法 Update
- 22 卷9号,情報科学と精神医学
- 22 卷 10 号,精神科診療と保険医療の問題点
- 22 卷 11 号,<公募論文>パラノイアとその周辺
- 22 卷 12 号,精神神経免疫学

1994年

- 23 卷1号,うつ病の日本的特性
- 23 卷2号,シャルコー没後百周年記念
- 23 卷3号,自助組織・支持組織の現状
- 23 卷4号,身体表現性障害の臨床
- 23 卷5号,精神神経科の症候群(増刊号)
- 23 卷6号,覚醒剤の臨床
- 23 卷7号,精神保健—最近の動向—
- 23 卷8号,境界型人格障害
- 23 卷9号,老年期痴呆の治療と介護:現状と問題点
- 23 卷 10 号,描画の臨床と表現病理
- 23 卷 11 号,精神分裂病の陽性症状と陰性症状
- 23 卷 12 号,<公募論文>薬物依存・連用にもとづく精神障害
- 23 卷 13 号,難治性うつ病の臨床

1995年

- 24 卷1号,森田療法—最近の進歩
- 24 卷2号,死と精神医学
- 24 卷3号,精神科医療と社会資源
- 24 卷4号,恐怖症性不安障害—その病理と治療—
- 24 卷5号,精神科医のためのMRIの基礎知識
- 24 卷6号,老化とサーカディアン・リズム
- 24 卷7号,睡眠障害の基礎と臨床(特大号)
- 24 卷8号,幼少児の精神医学—発達の早期を中心に—
- 24 卷8号,今日の精神科治療(増刊号)
- 24 卷9号,ニコチン依存の基礎と臨床
- 24 卷 10 号,躁病と躁状態の臨床

24 卷 11 号,中学生の精神医学

24 卷 12 号,災害と精神科医療－阪神大震災の経験から－(特大号)

1996年

25 卷1号,精神科看護の動向と精神科医療

25 卷2号,精神分裂病の陰性症状

25 卷3号,DSM－Ⅳ分類をめぐって

25 卷4号,精神疾患の脳研究－最近の進歩－

25 卷5号,新しい「精神保健福祉法」

25 卷6号,精神科救急医療

25 卷7号,症候論からみた行動障害

25 卷8号,現代女性と精神医学

25 卷9号,薬物療法と精神療法の接点

25 卷 10 号,慢性分裂病の薬物療法－問題点と副作用－

25 卷 11 号,気分障害の生物学

25 卷 12 号,コンサルテーション・リエゾン精神医療

25 卷 12 号,精神科臨床検査法マニュアル(増刊号)

1997年

26 卷1号,児童虐待

26 卷2号,向精神薬の相互作用

26 卷3号,最近話題の精神神経科症候群

26 卷4号,サイコエデュケーション

26 卷5号,発達障害とその周辺

26 卷6号,老年期痴呆と画像－最近の話題－

26 卷7号,てんかんの臨床－最近の話題－

26 卷8号,[特大号]精神科クリニック最前線

26 卷9号,ひきこもりの精神病理

26 卷 10 号,精神現象の季節性

26 卷 11 号,精神障害と禁治産制度

26 卷 12 号,[公募論文特大号]難治性気分障害の治療

[増刊号]精神神経疾患の状態像と鑑別診断

1998年

27 卷1号,情動の神経科学

27 卷2号,昼間の眠気と過眠症

27 卷3号,病前性格・再考

- 27 卷4号,医療用薬品の乱用
- 27 卷5号,精神分裂病研究の現状
- 27 卷6号,気分変調症の臨床
- 27 卷7号,[特大号]幻覚研究—最近の進歩—
- 27 卷8号,精神療法の最近の病態に対する適応
- 27 卷9号,性ホルモンと精神疾患
- 27 卷 10 号,保護者制度と医療保護入院
- 27 卷 11 号,[公募論文特大号]自殺・自殺企図と関連症例
- 27 卷 12 号,精神疾患の Comorbidity をめぐって
- [増刊号]高齢小児化時代の精神保健・医療

1999年

- 28 卷1号,精神科臨床研究の方法
- 28 卷2号,身体疾患に伴ううつ病をどうとらえるか
- 28 卷3号,ストレス脆弱性
- 28 卷4号,性同一性障害
- 28 卷5号,国際化社会の精神保健
- 28 卷6号,服薬の心理とコンプライアンス
- 28 卷7号,[特大号]最近の精神医学的症候学
- 28 卷8号,いま号,アルツハイマー病は
- 28 卷9号,病院における臨床心理士
- 28 卷 10 号,老年期精神疾患とリスクファクター
- 28 卷 11 号,[公募論文特大号]人格障害をめぐる諸問題巻症例を中心に—
- 28 卷 12 号,この100年の精神医学とは何だったのか
- [増刊号]精神科臨床評価マニュアル—質問紙号,評価尺度号,面接基準—

2000年

- 29 卷1号,心的外傷後ストレス障害(PTSD)をめぐって
- 29 卷2号,神経症再考
- 29 卷3号,行動化型症例の入院治療
- 29 卷4号,精神分裂病の病因と予防をめぐって
- 29 卷5号,高機能自閉症と近縁疾患
- 29 卷6号,痴呆性高齢者の意思能力
- 29 卷7号,アルコール依存症の生物学
- 29 卷8号,[特大号]気分障害—最近の知見
- 29 卷9号,対人恐怖／社会恐怖
- 29 卷 10 号,BPSD:behavioral and psychological symptoms of dementia

29 卷 11 号,[公募論文特大号]意識障害とその周辺—症例を中心に

29 卷 12 号,精神科救急医療の現状と問題点

[増刊号]今日の精神科治療2000

2001年

30 卷1号,「こころの世紀」と精神医学—新ミレニアムの初夢を語る

30 卷2号,デイケア—最近の進歩

30 卷3号,非アルツハイマー型痴呆の病態と診断

30 卷4号,犯罪被害者のメンタルヘルス

30 卷5号,心理教育の新展開

30 卷6号,行為傷害

30 卷7号,ジェンダーの精神医学

30 卷8号,精神疾患の脳画像の最近の進歩と知見

30 卷9号,向精神薬療法;今後の展開

30 卷 10 号,精神科入院治療をめぐる諸問題

30 卷 11 号,[公開論文特集号]精神分裂病の初回エピソード

30 卷 12 号,海馬と精神医学

[増刊号]芸術療法と表現病理

2002年

31 卷1号,精神科リハビリテーションの現在

31 卷2号,精神障害者社会復帰と福祉

31 卷3号,起訴前鑑定

31 卷4号,精神科と他科の接点とすみわけ

31 卷5号,精神疾患と養育環境

31 卷6号,文化精神医学と精神医学史:両者の出会いが生み出す可能性

31 卷7号,アジアの精神医学:現状と課題

31 卷8号,感染症と精神医学—症状精神病・器質性精神病の新たな展望に向けて—

31 卷9号,思春期に見る発達障害の診断と治療

31 卷 10 号,老年期痴呆性疾患の薬物療法

31 卷 11 号,スポーツとメンタルヘルス

31 卷 12 号,任意入院

[増刊号]PTSDとその周辺をめぐって

2003年

32 卷1号,診療録開示と精神科

32 卷2号,児童虐待をめぐる現状と課題

- 32 巻3号,精神・神経疾患に対する電気／磁気刺激療法
- 32 巻4号,精神疾患における前頭葉研究の進歩
- 32 巻5号,今再び, 向精神病薬の安全性を問う
- 32 巻6号,多剤併用への処方箋
- 32 巻7号,非定型精神病／統合失調感情障害
- 32 巻8号,笑いとユーモアの精神医学
- 32 巻9号,精神医学卒後研修のありかたをめぐって
- 32 巻 10 号,精神療法—その適応の拡大と技法の修正
- 32 巻 11 号,精神疾患の双生児・同胞例, 家族内多発例
- 32 巻 12 号,記憶障害の最近の話題
- [増刊号]精神科診療に必要な書式マニュアル

2004年

- 33 巻1号,レビー小体と精神症状
- 33 巻2号,女性の精神医学
- 33 巻3号,精神科領域における薬剤開発の新しいシステムと開発動向
- 33 巻4号,思春期臨床の現在
- 33 巻5号,サイコオンコロジーの現状と展望
- 33 巻6号,NIRSによる機能画像の新展開
- 33 巻7号,職場のメンタルヘルス
- 33 巻8号,周産期精神医学
- 33 巻9号,成年後見の現況—施行5年目を迎えて—
- 33 巻 10 号,ヒトゲノム解読後の精神医学
- 33 巻 11 号,周産期から乳幼児期の環境と精神発達
- 33 巻 12 号,自殺防止対策を考える
- [増刊号]精神科臨床評価・検査法マニュアル

2005年

- 34 巻1号,睡眠障害の臨床
- 34 巻2号,衝動制御の障害と関連病態
- 34 巻3号,精神医学と神経学との再統合—新しい神経精神医学の流れ—
- 34 巻4号,第2世代抗精神病薬の臨床薬理:Up-to-date
- 34 巻5号,「うつ状態」の精神医学
- 34 巻6号,統合失調症と認知機能障害
- 34 巻7号,精神疾患の最新臨床疫学
- 34 巻8号,精神保健福祉施策のグランドデザイン—障害者自立支援法案をめぐって—

34 巻9号,アスペルガー症候群をめぐって—症例を中心に—

34 巻 10 号,SSRI/SNRIの臨床適応

34 巻 11 号,てんかん医療—最近の話題—

34 巻 12 号,精神療法の基本

[増刊号]精神科医療のリスクマネジメント

2006年

35 巻1号,薬物療法のコンプライアンスを高めるために

35 巻2号,高次脳機能障害／びまん性軸索損傷

35 巻3号,動き出した医療観察法

35 巻4号,パーシャルアゴニストの精神薬理

35 巻5号,総合病院精神科・精神科クリニックの現状と将来

35 巻6号,神経症圏障害のすべて

35 巻7号,「うつ」をめぐる精神科と内科のネットワーク

35 巻8号,「うつ病」による病休・休職者の復職をめぐる精神医学的諸問題

35 巻9号,電気けいれん療法(ECT)の治療経験—症例を中心に—

35 巻 10 号,双極性障害

35 巻 11 号,遂行機能とその障害

35 巻 12 号,ベンゾジアゼピン系薬物の功罪

2007年

36 巻1号,新しい時代の統合失調症—研究から治療へ—

36 巻2号,精神科チーム医療を担う専門職のこれから

36 巻3号,精神科医育成のための後期研修プログラム—卒後3年目以降の精神科専門
研修—

36 巻4号,早期精神障害—診断と治療—

36 巻5号,児童思春期精神医学の最近の進歩

36 巻6号,コンサルテーション・リエゾン精神医療の実践

36 巻7号,扁桃体と精神医学

36 巻8号,Social Brain

36 巻9号,触法精神障害者のアセスメントと治療

36 巻 10 号,アルコール関連精神障害の最近の話題

36 巻 11 号,日常臨床における精神療法

36 巻 12 号,社会不安障害／社交恐怖

2008年

37 巻1号,痛みの精神医学

- 37 巻2号,注意欠陥多動性障害(ADHD)
- 37 巻3号,精神疾患の周期性と時間生物学
- 37 巻4号,脆弱性とレジリエンス
- 37 巻5号,臨床に必要な高齢者精神障害の知識
- 37 巻6号,fMRIと精神医学
- 37 巻7号,気分安定薬の現状と課題
- 37 巻8号,ACTの可能性を探るー現状と課題ー
- 37 巻9号,うつ病周辺群のアナトミー
- 37 巻 10 号,精神疾患の臨床神経生理学的研究の最新知見
- 37 巻 11 号,摂食障害と食行動異常ー最近のトピックス
- 37 巻 12 号,成人期臨床における広汎性発達障害

2009年

- 38 巻1号,神経経済学ー社会における意思決定の神経基盤と精神医学
- 38 巻2号,今日の生活臨床と統合失調症の心理社会的治療
- 38 巻3号,森田療法の発展と課題
- 38 巻4号,気分障害の神経心理学
- 38 巻5号,心神喪失者等医療観察法の改正をめぐって
- 38 巻6号,緊張病(カタトニア)・再考
- 38 巻7号,死生学と精神医学
- 38 巻8号,精神医学におけるゲノム医学とファルマコゲノミクス
- 38 巻9号,精神科と他科・他職種との連携
- 38 巻 10 号,解離性障害
- 38 巻 11 号,うそと脳
- 38 巻 12 号,てんかん医療の進歩

2010年

- 39 巻1号,精神療法のエッセンスを診療に生かす
- 39 巻2号,英国における精神科医療改革の動向と精神医学
- 39 巻3号,ドメスティックバイオレンスをどう克服するか
- 39 巻4号,不安の病理と治療の今日的展開
- 39 巻5号,睡眠障害の最新の知識
- 39 巻6号,患者と家族に伝えるべきことー心理教育 update
- 39 巻7号,緩和ケアと精神医学
- 39 巻8号,脳科学時代の精神病理学
- 39 巻 10 号,司法精神医学の現在ー北米と日本

- 39 卷 11 号,自殺の予防と対策
- 39 卷 12 号,精神療法—私の工夫

2011年

- 40 卷1号,わが国の精神保健・医療改革の展望—こころの健康政策構想会議の展望
- 40 卷2号,性差から見た精神疾患
- 40 卷3号,双極性障害の新たな展開
- 40 卷4号,認知神経科学と精神医学:イメージングと計算論
- 40 卷5号,これからの精神科地域ケア—統合失調症を中心に—
- 40 卷6号,こころの進化と精神医学
- 40 卷7号,双極性障害における薬物療法の今日的課題
- 40 卷8号,内因性は号,今
- 40 卷9号,スポーツと精神医学
- 40 卷 10 号,症状性を含む器質性精神障害の症例
- 40 卷 11 号,フクシマの教訓—放射能被ばく事故に学ぶこころのケア
- 40 卷 12 号,この40年と精神医学

2012年

- 41 卷1号,強迫性障害
- 41 卷2号,レジリエンスと心の科学
- 41 卷3号,不定愁訴
- 41 卷4号,精神科スーパー救急医療の現状と課題—東京をモデルとして
- 41 卷5号,精神科診断分類の改訂に向けて—DSM—5の動向
- 41 卷6号,幻覚・妄想の神経精神医学
- 41 卷7号,精神疾患の生物学的検査法の近未来
- 41 卷8号,認知／行動療法の技法と治療効果
- 41 卷9号,災害と精神医学
- 41 卷 10 号,精神病早期介入のエビデンス:アップデート
- 41 卷 11 号,気分障害のリワークプログラム
- 41 卷 12 号,長寿社会における認知症診療の課題